

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日 平成29年4月3日

事務事業名 土地改良事業調査設計費参画事業
事業区分 新規/継続
担当 040102000845
所属課 050101 農林課
政策体系 総合計画の施策名 O401 農林業の振興
政策名 04 活力ある産業のまちづくり
施策名 01 農林業の振興
手段名 02 ②農業の効率化推進
事業期間 単年度繰返し (昭和33年度~)
法令根拠 土地改良法

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要
①事務事業の概要(事務事業の全体像)
・土地改良事業団体連合会が事業主体となり、市営土地改良事業(ため池・用排水路・ほ場整備等)実施に先立ち、事業計画作成のための調査を行う事業。その事業費を県と市が50%ずつ負担している。
②担当が行う業務の内容・やり方・手順
・事業主体である茨城県土地改良事業団体連合会と協議し、設計する事業
①調査設計事業に着手(協定の締結)
②現地調査や立会
③計画設計の打ち合わせ
④成果品納品検査
⑤支払
【時期】
毎年8月頃→翌年度の要望依頼がある場合に申請
※H29当初予算においては箇所付け無

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移
①手段 (担当者の活動内容)
④活動指標 (活動量を表す指標)
事業主体である茨城県土地改良事業団体連合会との連絡調整
28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(計画) 31年度(目標) 32年度(目標)
調査設計申請件数 1.00 0.00 1.00 1.00 0.00
実施箇所累計数 19.00 19.00 20.00 21.00 0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)
⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)
農業生産基盤整備事業
今後の要望件数 2.00 2.00 2.00 2.00 0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)
⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)
事業費の算定や事業計画案の策定を通年度で行うため、事業実施年度の円滑な工事着手ができる。
実施率(実施終了箇所/実施予定箇所) 100.00 100.00 100.00 100.00 0.00

(3) 投入量(事業費)の推移
28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(計画) 期間限定総投入量
事業費内訳
国庫支出金 千円 0 0 0 0
県支出金 千円 0 0 0 0
地方債 千円 0 0 0 0
使用料・手数料 千円 0 0 0 0
その他 千円 0 0 0 0
一般財源 千円 486 0 486 486
事業費計(A) 千円 486 0 486 486
人件費
正規職員従事人数 人 1.00人 1.00人 1.00人
述べ業務時間 時間 0.00 0.00 0.00
人件費計(B) 千円 0 0 0
トータルコスト(A)+(B) 千円 486 0 486

事業費の内訳
29年度事業費実績(千円) 30年度事業費予算(千円)
合計 0 合計 486

(4) 当該年度の実施内容
30年度の事業内容 31年度の事業内容 32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する
・主要事業
・市長マニフェスト
・未来PJ事業
・合併建設計画事業

事務事業名	土地改良事業調査設計費参画事業	事務事業No.	40102000845	所属課	農林課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

土地改良事業団体連合会は、昭和33年4月1日に土地改良事業を実施する者を会員として設立した団体である。当市では、未整備な農業用施設が未だ多く、当該箇所の事業着手時には、測量や設計費用及び時間が必要になる。本事業により効率的な事業費の検討ができる。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

農業生産基盤整備事業を実施する要望者からは、有難く思われている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	本事業による事前の調査測量により、農業生産基盤整備事業が円滑に実施されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市営農業生産基盤事業実施のため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	本事業は、土地改良事業団体連合会が事業主体であり、それにより県の補助事業となっているため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	参画事業であるが、内容としては調査測量に対する補助事業であり、事業費や市職員の実務時間の節約になっている。そのため、事業休止となると、市の財政負担及び人件費負担が増加することとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	土地改良事業団体連合会が事業主体となることが県補助の要件であるため。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	受益者負担に直結するため、充実した成果品を要求している。人件費も農業基盤整備事業と連携するため適正である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	事務事業の目的に沿って実施しており、受益者負担は公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	全体として適切であるが、対象の限定や目的の明確性に見直しの余地がある。また、受益者負担と直結するため、農業生産基盤整備事業の要望をあげても本事業を実施する段階で要望者団体の意思がまとまらない場合がある。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
	低下																										
			(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																									
		コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認